

第 18 回 ASTAGE CAMP 2016 秋



<概要>

日時：2016年11月12日（土）～13日（日）

場所：横浜市こども自然公園少年野外活動センター (http://www.yspc.or.jp/kodomo_yc/)

参加人数：60名

参加費：1300円

<テーマ>

“Meet your friends, Make yourself global”

～友達をつくろう、デカくならろう～

参加する留学生や日本人学生同士の友情の出発点になってほしい、それとともにこの国際的な交流の場を通して自ら成長できるようにと、このテーマにした。

<当日までのスケジュール>

8月上旬	総括・副総括決定。場所決定。横浜市こども青少年野外活動センターの抽選会に申込。
9月下旬	日程決定。
10月上旬	テーマ決定。当日までのスケジュール概略決定(スタッフ班、広報、参加者受付期間等)。
10月中旬	当日スケジュール、スタッフ班、班長決定。施設と打ち合わせ、下見。
10月下旬	予算決定。広報開始。参加者受付開始。
11月上旬	参加者受付締め切り、当日参加人数確定。しおり作成。
11月中旬	反省会

<参加者名簿>

留学生男性		留学生女性		日本人男性	
1	アメリカ	1	台湾	1	日本
2	台湾	2	台湾	2	日本
3	台湾	3	アメリカ	3	日本
4	フランス	4	台湾	4	日本
5	アメリカ	5	アメリカ		
6	アメリカ	6	ドイツ		
7	メキシコ・アメリカ	7	アメリカ・日本		
8	台湾	8	ロシア		
9	台湾	9	中国		
10	中国	10	台湾		
11	中国	11	ミャンマー		
12	台湾	12	韓国		
13	韓国	13	中国		
14	韓国	14	中国		
15	アメリカ	15	中国		
16	エジプト	16	アメリカ		計 36 名

スタッフ			
フカサワ コウタロウ	日本	タンノ アイ	日本
イトウ タイチ	日本	ホリ ハルカ	日本
ナカジマ カゼ	日本	マツウラ ハナ	日本
イリヤマ ダイガク	日本	オオハシ シオリ	日本
チン エキショウ	中国	リ ハクカン	中国
フクヤマ タカヒロ	日本	ミズノ スミレ	日本
スズキ ユウタ	日本	ヨシイ ハッピー マリン	アメリカ
キクチ マサカズ	日本	ナガトモ アヤカ	日本
グエン ワン フィ	ベトナム	ラキヤ ケテヴァン	ロシア
キム ジュンホ	日本	パク ジヨン	韓国
イイズカ タケル	日本	計22名	
ヤマモト コウヘイ	日本		

<当日のスケジュール（当初の予定）>

<u>一日目</u>	
（ゴシックで表示された部分は参加者のスケジュール）	
10:00	食事班 横浜駅出発
11:00	食事班 スーパー買い出し
12:00	参加者横浜駅集合
12:40	1レク 準備
13:00	食事班 センター到着
13:30	食事班 厨房へ移動
13:45	入所式
14:00	レクリエーション1
16:00	食事班 野外炊飯の場所確認 / 1レク 片付け
16:30	野外炊飯
17:15	キャンプファイヤー班 準備
17:30	夕食
18:00	食事班 片付け
18:30	キャンプファイヤー
18:35	キャンプファイヤー班 マイムマイム
18:45	キャンプファイヤー班 マシュマロ&音楽
19:30	キャンプファイヤー班 片付け / 2レク 買い出し
20:00	入浴開始
22:00	入浴終了
22:30	スタッフ全員 ミーティング（食堂）
23:00	就寝
<u>二日目</u>	
7:00	食事班 起床&朝食用意
7:30	スタッフ全員 起床
8:00	参加者起床
8:30	朝食
9:30	食事班 片付け
10:00	退所準備
11:00	退所式 / 2レク 準備
11:30	レクリエーション2
13:00	解散（雨天時：朝食後解散）

<スタッフ役職>

総括：キム ジュンホ

副総括：リ ハクカン

1日目レクリエーション（1レク）班長：イトウ タイチ

食事班長：オオハシ シオリ

キャンプファイヤー班長：ナカジマ カゼ

2日目レクリエーション（2レク）班長：ナガトモ アヤカ

引率教員：藤井桂子（国際戦略推進機構）

<良かった点>

- ・1日目野外炊飯以降の時間のズレに対し、キャンプファイヤー班を始め皆臨機応変に対応してくれた。そのおかげで参加者から不満が出ることなくスムーズに進行できた。
- ・2日目の退室前、部屋の掃除及びチェックがしっかりできていた。これによりやり直しなく一発で施設の方から合格をもらった。
- ・2日目、予定時間より早めに2レク会場へ移動したが、2レク班が迅速に対応してくれたおかげでスムーズにレクを始められた。
- ・過去の資料が役立った。
- ・参加者、スタッフ共に楽しく終えることができた。

<反省・改善点>

- ・計画が後手にまわりがちだった。
- ・総括はもっと効率的にスタッフに仕事を振り分けるべきだった。
- ・書類記入の方法をまとめて、次へ受け継ぐべき。
- ・施設との連絡がうまくいかず、1日目の厨房使用時間が遅くなってしまった。
- ・各班のスケジュール決めが遅くなってしまった。
- ・当日、シーツを人数分以上取り過ぎてしまった。
- ・掃除の仕方を確認していなかった。
- ・参加者アンケートを作るのを忘れした。

<各班報告>

■1日目レクリエーション

内容：

ラジオ体操

日本のラジオ体操を紹介、みんなで準備運動する

ジェスチャー伝言ゲーム

チーム毎にジェスチャーで伝言ゲームを行う

キャッチフラッグ

チーム毎に一人ずつ選び、コーンを走ってとる競争をする

かるた

日本のことわざや英語の言葉で巨大かるたを行う

備考・・・当日現地での準備が少ない種目を選んだ

準備の流れ：

10月下旬～11月上旬・・・種目決め、道具洗い出し、ジェスチャー・かるた作成

11月上旬～当日・・・しおり作成、景品・備品購入



■食事

【概要】

アステージ一泊二日の内の参加者とスタッフの二食分を計画、準備、作成とともに、交流の一環としてグループワーク形式で食事の時間を有効活用した。

【準備】

大きく分けて事前準備と当日の準備の二つの段階に分けられる。スタッフ内での情報共有不足が様々な問題の原因になるため、改善すべく Google document を活用して細かい情報共有がされた。班以外の 105 スタッフとの共有をすることで、食事の予定を把握すること、当日のスタッフの動きを良くすることも目的であった。

【事前準備】

共有されたドキュメント上で予定表(表1)を作成し、ミーティングなどで話し合った内容を議事録とともに表に細かく記載することで、班内で期限を決めて計画を進めた。チェックリスト同様の機能を果たし、進行状況を反映することでコミュニケーション不足を回避することができた。これらの予定表にて記載された、準備すべき段取りは前回 2015 年の秋アステージの報告書やイベントのマニュアルを元に作られた。

(表1) 共有ドキュメントの予定表(打ち合わせ資料)

1.1 予定表

日付	項目	役割分担	備考
10/26 水曜	食事班meeting ●資源管理部と残りの備品を確認 ●班分け 決定次第試算して藤井先生に確認		Meetingまでに詳細を大まかに決めておく。マニュアルに目を通して、総括から追加情報得る 予算：6万円(56000円、40000円が舞台) タクシー代は参加費から別に確保済み。2回分として約2500円 厨房1日目：20時まで使える 2日目：8時から使える
10/31 までに	確認したことをクリアにする ●メニュー決定 ●食材リストアップして試算 ✓●業務スーパー行って値段を下見	✓かほさんに当日の食材の調達方法をきく。タクシーのこと ✓あいちゃんから反省もらう	
11/3	食材調達申し込み期日 やきそばとかカレーだったらの話 ●作り方を大まかに書き出す	✓洗う用具の用意のことを総括に確認 カツオの本出しはハラルに影響しないよね? ファイヤー用に新聞持っていきよ	
11/3	●作り方を班員で確認する ●班分けの人数決め		
11/7	●作り方の英訳期限 ●班分けの部分は空欄にして、レイアウトはつけておく		

メニュー決定や購入材料の個数など、前回の秋アステージの細かい反省点を反映させることで、イベント後の改善点を実践した。また、これらの経緯を記載することで来年度の引き継ぎの手助けになるようにした。

共有ドキュメントを活用する利点として、班員が個人で読んだときに疑問点や指摘を気軽に書き留めることで助け合うことができる点があげられる。よってミーティングなど決められた時間内でのみ話し合いがされる従来のやり方ではなく、個人が好きな時間に動ける仕組みになり、班員の負担が軽くなった。また、計画中の記録があるため、イベント後の反省で漏れることがなかった。

当日の買い出しをスムーズにするために共有ドキュメントに個数と役割分担を決めた。今回センターへ2台のタクシーで向かうことが決定していたため、先発組と後発組で買う物を分担でき、買い出しは2時間以内で終了した。しかし、現地の準備に不備があったため、今回の10時出発より早い時間の方が更に余裕が持てる。

【一日目の準備】

食事班は参加者や引率スタッフよりも早い、10時に横浜駅を出発し、買い出しを2時間以内に収めたが、それでも準備時間が足りなかった。

現地到着後、購入品を一箇所にまとめてレシートの写真撮りを漏れなく、迅速に済ませることができた。しかし施設との連絡、確認不足で一日目の夕食の準備のために厨房が使えず、準備は野外炊飯場ですることになった。施設から借りる野外炊飯セット内の調理器具を使う方法しかなかったため、施設側の準備に合わせることで食材を切るなど、全ての準備が始まったのは14時近くだった。この時点で参加者に食材を切ってもらうなど計画を変更するべきなのか、後片付けを短く簡単に済ませるためにスタッフで準備してしまった方がいいのかは話し合うべき点だと思った。

【一日目の後片付け】

夕食の後片付けに追われてスタッフがキャンプファイヤーのレクリエーションに参加できなかった。鍋の煤を取るためのクレンザーが足りなかったり、施設側から洗い直しの指摘があったりなどしてスタッフの入浴の時間に余裕が持てなかった。全ての予定が後押しになってしまったため、後片付けの時間を十分に確保できなかった。

【二日目の朝食】

サラダ用の食材を切ることや米を炊くなどの事前準備は、前夜に済ませていたため、起床後の準備はテーブルを拭き、皿やスプーンを用意することだけだった。準備が早く済んだため、スタッフが参加者より早く朝食を済ませることで混雑を回避できた。参加者の食事中に手が空いたスタッフが片付けを始めたため、後片付けを早く終わることができ、全員で二日目のレクリエーションに参加することができた。

【表 2：反省点と改善策】

○良かった点、×反省点	改善策
○メニュー選択良い。おいしかった。	
○レシートと食品の写真撮りがスムーズにいった。	
○事前準備できた。買い物リスト見やすかった。	
○みんなおなかいっぱい食べられた。	
○外でかばんを置く所にゴミ袋を敷けてよかった。	次からはレジャーシートを持っていけばいいと思う。
○掃除の手間を省くため、参加者に具材を切らせるなどの作業はさせなくてよかった。	
○調理器具を分けたのがよかった。	
○蒔の組み方をスタッフの一人が伝授したため、参加者が自分で火をつけられた。火をおこすのが早かった。それぞれのかまどの前に蒔を置いて、使い過ぎを防げた。	余裕があれば蒔の組み方を分かりやすい図に起こしてしおりに記載する。
×味噌汁をつくりすぎた。水の量や味見をするスタッフの指導不足。味が薄かった。	常に現場監督役として回るべき。
×人員不足で片付けが遅くなり、洗い残しなどでさらに時間が遅くなった。そもそもスタートの時間が遅かったから全部遅くなった。	取っ手を洗う用に歯ブラシを用意する。クレンザーは普通の食器洗剤とはちがう。情報共有不足のうえ、勘違いをしていた。絶対買わないといけない。

×米かたかった。量は足りた。余ったぐらい。	水の量を多めにする。
×チキン1キロぐらい余った。でも押し売りした。最初は20キロ計算で、8キロ追加した。	予算調節のために追加購入したこともあり、買い出し中に計算する必要性がある。
×パンをもっと買ったほうがよかった。あと5袋買えばよかった。 お茶漬けがわからなくて食べない参加者もいた。ふりかけという案もあるけど、おかずが必要になる？	予算に余裕があったため、朝食メニューを二つにして人数分買うことが可能。
×準備が終わらなくて、参加者を待たせてしまった。	待たせることを考慮して、準備を手伝うなどやるべきことを計画するべき。もしくは予定をずらして、臨機応変に自由時間を長く取るべきだった。
×バターナイフなかった	スプーンなどで代用できるため、大きな問題ではないが覚えて買っていれば尚良し。
×荷物重かった。	タクシーを中まで入れる許可をもらう。
×厨房借りられなかった。どうやって連絡するか。	連絡を総括に任せるのは大変なんじゃないか・・・。総括以外に連絡係を一人設けるのはどうか。
×塩胡椒忘れた スープの値段の下見するの忘れた。	調味料忘れがちなので注意。
×火が消えるタイミング等料理の段取りを考えて指導すべきだった。蒔を無駄に買ってしまった。	当日の動きを全て通して考える必要がある。
×作ったグループが窯を二つ使うという計算で、窯を一つ味噌汁用でもう一つがフォイル焼き用ということ、伝えておらず全部の窯に火をつけてしまい蒔を追加して買った。	しおりに記載していても、口頭でしっかり伝えること。105のスタッフ全員で細かいしおりの読み合わせが必要。
×もっと早くスーパーを出ればよかった。	横浜駅の出発時間を早めることで、更に改善できた。
×米20キロでよかった。	20キロの1袋で足りる。
×キャベツ小さいのを7個くらい買ったけどあまった。1食4個でよかった。	サラダに使える野菜が売れ切れで買えなかったため、バラエティがなかった。スーパーによって野菜の品揃えが異なるので、横浜駅か南万騎が原駅周辺の別スーパーで野菜だけ買うことも可能。
×朝食のボウルとスプーンを計算し忘れて追加で買った。	計画不足。
×施設のゴミ袋を買わないといけなかった。事前に買う意味なかった。	施設や総括との連絡事項を班内でまとめることで、漏れることが防げる。





■キャンプファイヤー

概要：

前回と同様、火を取り囲んでマイムマイムなどを踊ってから、音楽をかけながら自由タイム(マッシュマロタイム)という流れで行う予定であった。

当日は、数人で先にキャンプファイヤーの木を組み火をつけてから人を集めた。時間が押していたため、踊りは省略して最初から自由タイムをとり、それぞれ思い思いに過ごしていた

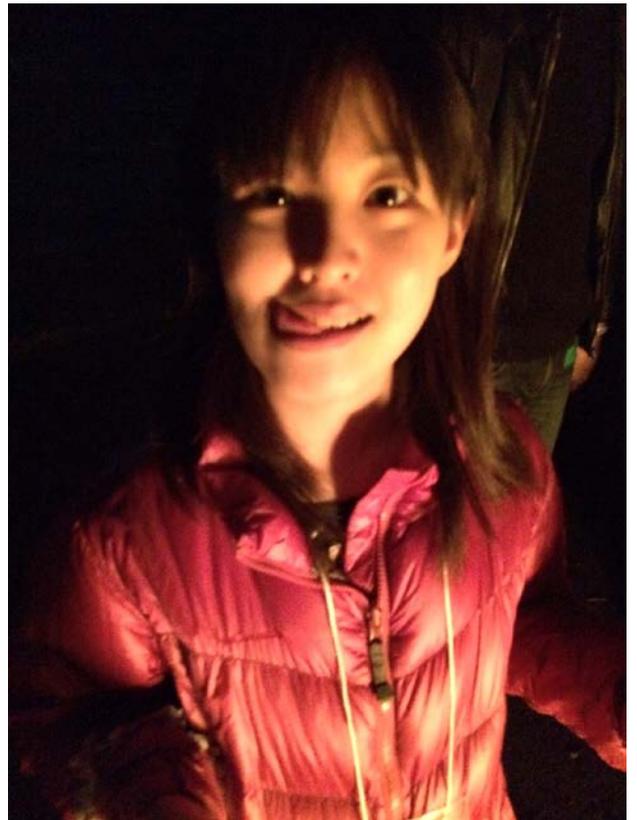


良かった点：

- ・みんな楽しそうだった
- ・マシュマロの需要が高かった
- ・詳しいスタッフのおかげで火起こしがスムーズにできた
- ・時間を考慮し、踊りを無くしてマシュマロだけにするという、臨機応変な対応ができた

反省・改善点：

- ・最初、1人2つマシュマロを配っているスタッフがいた
- ・火が小さいという声があったが、マシュマロを焼くならあれが限界らしい
- ・火の消し方を把握していなかった
- ・写真の撮り忘れがあった
- ・熱くてマシュマロを焼けない人のために軍手を用意するのもあり
- ・マシュマロは大きい袋3つ以上必要



■2日目レクリエーション

概要：

1日目に初めて出会った参加者の親睦を深め、キャンプファイヤーと懇親会で疲れた参加者とスタッフの元気を取り返すための2レクである。よって、1レクよりも軽めの運動を取り入れたレクを中心にした。当日は良い天気であれば外でレクリエーションを行うが、天気不良の場合を想定して室内レクも準備した。

当日までのスケジュール：

10月24日(水)(残り18日間)・・・始動。ミーティングの日を決定し、レクのを募集した。

10月26日(水)(残り16日間)・・・ミーティングを行い、外のレクと仕事分担を決定した。

11月2日(水)(残り9日間)・・・ミーティングを行い、中のレク、競技順、チーム分けとレクのルールを決定した。

11月3日(木)(残り8日間)・・・買い出し。

11月5日(土)(残り7日間)・・・しおりに作り始めた。

11月9日(水)(残り2日間)・・・最終ミーティングを行い、準備したり、当日の動きを話したりした。

11月10日(木)(残り1日間)・・・しおり完成

備考：

当日、現地で思いがけず他の団体も活動しており、広場を共用するようになった。そのため、予定していた「けいどろ」を行わないことを決定した。



良かった点：

【準備段階】

- ・仕事分担がうまくできた。
- ・準備がスケジュール通りできた。
- ・メンバー皆が主体的に行動できた。

【当日】

- ・ドーナツ広場が半分しか使えなかったが、臨機応変にレク内容を変更した。
- ・他団体とのトラブルなくレクができた。
- ・参加者が楽しかったと言ってくれた。

反省・改善点：

- ・広場の利用状況に合わせたプランを数個用意すべき
- ・進行のリハーサルをすべき
- ・外では指示が通りにくいので、レク班以外のスタッフにも事前にもっと声掛け等の協力をあおぐべき
- ・余裕があれば、クリエイティブなレクを考える
- ・当日2週間前から全員が全力を出したことによって2レクを無事に終わらせたが、余裕を持って早く動き出したらもっと素晴らしいレクができたと思う



PHOTOGRAPHY





国際教育センター105 2016年度 主な開催イベント・活動

編集 ヤマモト コウヘイ
リ ハクカン

4月 春 welcome party

4月15日開催 参加人数 175名

4月に入学する留学生や日本人学生と在学学生を対象にした歓迎会。会場は例年第一食堂もしくは第二食堂で行うことが多い。毎回150～200名の参加者がいる。今回のパーティーでは105の概要をまとめた模造紙を壁に貼り、留学生や日本人参加者に105について知ってもらう機会とした。



5月 春アステージキャンプ

5月28、29日開催 参加人数 70名

一泊二日で行われる留学生と日本人学生との交流合宿。様々な国の文化をもった留学生と日本人学生がともにご飯を作ったり、レクリエーションやキャンプを行ったりする交流の場を設けている。毎年60～80名の参加がある。



7月 BBQ パーティー

7月10日開催 参加人数 70名

野外音楽堂で行われる夏のイベント。野外音楽堂という学内の目立つ場所で行っているため、当日の飛び入り参加も多い。レクリエーションとして、日本の夏の風物詩であるスイカ割りなどを行った。



10月 秋 welcome party

10月21日開催 参加人数 177名

秋学期に入学してきた留学生と、既存の留学生や日本人学生が交流するための歓迎会。会場は例年第一食堂もしくは第二食堂で行うことが多い。毎回 200名近い参加者がある。今回は、日本の秋の風物詩である紅葉狩りを体験してもらおうと、会場装飾にこだわり、紅葉やお城などをスタッフが手作りした。



11月 秋アステージキャンプ

11月12、13日開催 参加人数60名

春同様一泊二日の交流キャンプ。あるテーマについて留学生と共に考えたり問題を解いたりすることで、多文化を理解し新たな知識を得ることのできるワークショップなどを行う。今回は夕食を野外炊飯にし、参加者とスタッフが共に夕食を作ったことで交流が深まった。



スポーツ大会

10月18日、12月16日、1月27日開催 参加人数約50名

2015年度より始まり、今年で2年目となるスポーツ大会。言葉の壁を越え共にスポーツをすることで交流を深めるのが目的である。2016年度は3回開催し、バスケットボールやドッジボールなどを行った。今後も1、2か月に1回のペースで開催していく予定である。



1月 インターナショナルフードパーティー

1月22日開催 参加人数76名

留学生とともに様々な出身国の料理を作って食べるというもの。同時に、日本食にも親しめるようにしている。今年度は十ヶ国の料理が紹介された。このパーティーは、準備の段階から留学生と相談し一緒に考えながら企画を進めていくので、スタッフと留学生が協力して作り上げるイベントともいえる。



国際教育センター2階ロビーにて 日々の交流・相談活動の様子

月～金曜日 11時30分～14時30分オープン (長期休暇期間を除く)



2016年度105来室者記録

春学期： 814名

秋学期： 822名